

競技運営規程(抜粋)

第32回全日本大学ホッケー王座決定戦・第32回全日本大学東西交流戦 2013年度

1 大会運営

本大会は、公益社団法人日本ホッケー協会発行の「ホッケー競技運営規程」(2013年版)により運営される。もしもその解釈等に擬義が生じた場合はあくまでも「ホッケー競技運営規程」本文にしたがって解決を図るものとする。

2 競技規則

競技規則は、公益社団法人日本ホッケー協会「ホッケー競技規則」(2013年版)による。

3 試合時間

試合時間は、前半35分・後半35分の計70分とし、前後半の間に10分間のハーフタイムをおく。

4 時間の管理

試合時間は、ジャッジが管理する。ただし、前後半終了間際に与えられたペナルティコーナーは、規定の試合時間が終了しても中止されることなく、それが完了するまで続けられ、終了した時は審判員のホイッスルをもって規定時間の終了となる。

5 勝敗の決定方法

上記規定時間内に勝敗が決しない時は、下記の方法により勝敗を決定する。

(1) 準決勝戦までの場合

6に定める方法によりSO戦を行い、勝敗を決定する。

(2) 決勝戦・3位決定戦の場合

10分間の休憩後、あらためてサイド(又はボール保持)を決め直して、延長戦を行う。時間は、各7分30秒よりなる2ピリオドとし、2ピリオドの間にサイドをチェンジするが、休憩時間はおかない。この延長戦は、いずれかのチームが得点した時点で終了する。延長戦の結果なお勝敗が決しないときは、6に定める方法により、SO戦を行い、勝敗を決定する。

6 SO戦による決定方法

(1) 両チームの監督は公式試合記録用紙に記載されている選手の中から、5名の選手と攻撃を行う順番ならびに守備を行う1名を競技役員(TO)に伝える。ただし、レッドカードによる退場処分を受けている選手を除く。

(2) 両チームの5名の選手が交互に相手チームのGKまたは守備を行う選手とSOを行う。

(3) SOは

(ア) GK または守備を行う選手はゴールポスト間のゴールライン上またはゴールラインの後ろに位置する。

(イ) ボールをゴールの中心から最も近い23mライン上に置く。

(ウ) 攻撃を行う選手は23mエリア外のボールの近くに位置する。

(エ) アンパイアが笛を吹く。

(オ) リザーブアンパイアが計時を開始し、8秒経過時に笛を吹く。

- (カ) 両選手はどの方向に動いてもよい。
- (キ) SO 戦は次の該当する場合に終了する。
- i. 開始の合図から 8 秒が経過したとき
 - ii. ゴールとなったとき
 - iii. 攻撃する選手が反則したとき
 - iv. GK または守備する選手がサークル内外で故意でない反則をしたとき。この場合は同じ選手により再び SO が行われる。
 - v. GK または守備する選手がサークル内外で故意の反則をしたとき。この場合は PS があたえられる。
 - vi. ボールがバックラインかサイドラインを越えたとき。GK または守備する選手が故意にボールをバックラインを越えるようにプレーすることは許される。
- (4) 得点の多いチームが勝者となり、たとえ 10 名の選手全員が SO を終了していなくても、勝敗が決まった時点で SO 戦は打ち切られる。
- (5) 両チーム 5 名による SO が終了した時点でゴール数が同じだった場合は
- (ア) 同じ選手により両チーム 5 回の SO を行う第 2 シリーズを実施する。
 - (イ) 先攻と後攻を入れ替える。
 - (ウ) 攻撃を行う順番は第 1 シリーズと同じでなくてよく、SO ごとに監督が指名する。
 - (エ) 同数の SO を行った時、どちらかのチームがゴール数を上回っていた場合はそのチームを勝者とし SO 戦は終了する。
- (6) 第 2 シリーズ時点でもゴール数が同じであった場合、同じ選手により先攻後攻を入れ替え、以降のシリーズを行う。

7 その他

- (1) 出場チームは、試合開始 30 分前までに監督署名済みのエントリーフォームを 1 部提出する。
- (2) 試合開始 8 分前に、リングパス並びに服装・装具等の点検を行う。
- (3) ベンチは、組み合わせ番号の若い方が、ジャッジ席の左とする。監督はベンチに在る全ての言動について全責任を負うものとし、ジャッジ席に近い側に位置しなければならない。また、試合中控選手もベンチに着席していること。さらに、ベンチにはエントリーされた者以外は入ることができない。部長 1 名、監督 1 名、コーチ 1 名、フィジオセラピスト 1 名、ドクター 1 名 (手当する者 2 名)、選手 22 名の合計 27 名以内とする。